

貧困と格差が教育を破壊 憲法を活かそう！

一高校生アルバイトの実態から学ぶ働くルール

日時:2009年12月6日(日) 開会 午後1時30分
場所:大穂公民館 視聴覚室 TEL:029-864-3111
どなたでも自由に参加できます。入場無料。

講師:角谷信一氏(1954年大阪府生まれ、立命館大学文学部史学科卒業、
現千葉県立犢橋高等学校教諭、千葉県高等学校教職員
組合副委員長、著書:絶対トクする!学生バイト術 ほか)
話題提供:岡野一男氏(茨城県高等学校教職員組合委員長)

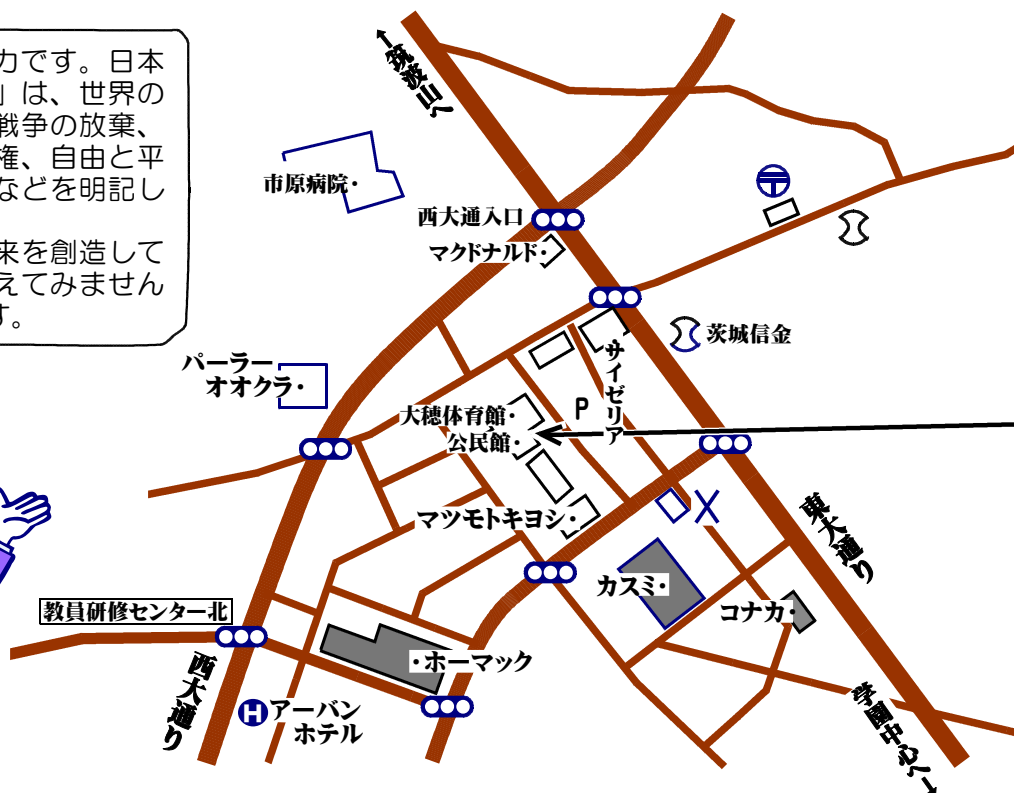


いま、日本では収入の半分以上を教育費に支払わなければならない世帯が40%を越えるという厳しい状況です。これは貧困と高額教育費のためです。そのため多くの高校生は、アルバイトを余儀なくされています。

アルバイト高校生はすべて非正規雇用労働者です。また、その多くはワーキングプアです。さらに多くの場合、労働組合に入って闘う必要のある違法労働の被害者です。闘うには、闘い方の知識と技術と組織を持たなければなりません。それには、労働者の権利を保障する労働法規の学習は欠かせません。その労働法規を駆使した交渉の方法や実践的なやり取りの事例紹介も必要です。闘いを支える労働組合や組織の作り方、勝利への展望を示すことも大切です。こうした視点から高校生アルバイトの実態と働くルールについて考えてみましょう。

働くルールや憲法25条(生存権)と26条(教育権)、27条(働く権利)などについて、みんなで考えてみましょう

みなさん、知は力です。日本の最高法規「憲法」は、世界の宝だと思います。戦争の放棄、そして人権、生存権、自由と平等、労働者の権利などを明記しています。
子どもたちの未来を創造していくため、共に考えてみませんか!入場は無料です。



大穂公民館会場
(視聴覚室)

主催:研究学園都市研究所・大学関係9条の会

HP:http://peace.arrow.jp/tsc/i_home.php 連絡先:茅野徳治 TEL:029-857-6593